

## 天橋立を世界遺産にする会 平成20年度事業報告書

### ○実施事業一覧

#### (1) 気運活性化・学習事業

- ◎世界文化遺産登録市民シンポジウム(4/22)
- ◎世界遺産登録推進運動(6/21)
  - ・第1部 HAND in HAND 天橋立
  - ・第2部 天橋立車座シンポジウム(第6回まなび舎塾)
- ◎天橋立まなび舎塾
  - ・第6回「天橋立車座シンポジウム」(再掲)
  - ・第7回「文化芸術の源泉としての天橋立」(9/13)
- ◎住民説明会・出前説明会等

#### (2) 世界遺産登録推進DVD製作事業

#### (3) その他情報発信・啓発等事業

- ◎ロゴマークの作成・活用
- ◎会報の発行
- ◎他団体との連携
  - ・世界遺産講演会(丹後地区広域市町村圏事務組合との共催事業、7/11)
  - ・クリーンはしだて1人1坪大作戦等への参画(4/13, 10/22, 12/14)
  - ・天橋立公園継承準備委員会への参画
- ◎要望活動
  - 文化庁等要望(8/8, 8/20~21)
- ◎その他広報

#### (4) 会議等の開催

- 総会(4/8)
- 理事会(5/16, 6/5, 10/1)
- 戦略検討チーム(4/16, 5/2, 6/17, 1/30)

#### (5) その他関連事業

## ○実施事業概要

### (1) 気運活性化・学習事業

#### ◎世界文化遺産登録市民シンポジウム

- ・日 時：平成 20 年 4 月 22 日（火） 19 時～22 時
- ・場 所：宮津歴史の館文化ホール
- ・共 催：天橋立公園継承準備委員会
- ・後 援：京都府 宮津市 伊根町 与謝野町
- ・参加者数：約 220 名
- ・内 容：

テーマ	世界文化遺産登録市民シンポジウム — Keep the green, Leave the treasure —
プログラム	第 1 部：リレートーク「声のコラム —天橋立と私—」 加畑輝行氏（(社) 宮津青年会議所理事長） 赤松富子氏（宮津美しさ探検隊） 和田義清氏（伊根町商工会青年部長） 大垣忠博氏（与謝野町商工会青年部長） 第 2 部：体験報告「屋久杉の森の使い人 柴鐵生が語るあの 10 年」 柴鐵生氏（上屋久町在住） 第 3 部：講演「作家・藤本義一が語る天橋立」 藤本義一氏（作家）
概要	第 1 部では、出演の各氏が地域住民の立場から天橋立を語ることで、自身の生活と天橋立との関わりについて改めて考えさせるものであった。 第 2 部では、世界遺産となった屋久島で屋久杉の原生林保護に取り組まれてきた柴鐵生氏の生の声を聞き、自然を守っていく意義を学んだ。 第 3 部では、作家藤本義一氏が広い見地から「文化」を語り、文化遺産としての天橋立について問い掛けるものであった。 以上、様々な立場・角度から天橋立に光を当て、来場者に「自らと天橋立」について考えるきっかけを与える内容となった。

#### ◎世界遺産登録推進運動

##### ◆第 1 部 HAND in HAND 天橋立

- ・日 時：平成 20 年 6 月 21 日（土） 9 時 30 分～12 時
- ・場 所：天橋立
- ・共 催：社団法人宮津青年会議所 天橋立公園継承準備委員会
- ・後 援：京都府 宮津市 伊根町 与謝野町  
京都府丹後教育局 宮津市教育委員会 伊根町教育委員会 与謝野町教育委員会 与謝野町宮津市中学校組合教育委員会

宮津商工会議所 伊根町商工会 与謝野町商工会  
天橋立を守る会 天橋立名松リバース実行委員会 京都新聞社

・参加者数：約 2,280 人

・内 容：

テーマ	HAND in HAND 天橋立 ～2008 人でつなぐ天橋立～ 残そう！未来の子どもたちへの贈り物
プログラム	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>命名松の二世松の記念植樹</b> 天橋立を未来へ継承していく象徴として、平成 16 年台風第 23 号で倒れた命名松の二世松の植樹を行った。 (京都府知事、宮津市長、伊根町長、与謝野町長、京都府議会議員)</li><li>・ <b>天橋立宣言</b> 世界遺産にする会会長が、過去から守り継がれてきた天橋立を今後も子ども達へ引き継ぐことを誓う宣言を行い、HAND in HAND 天橋立参加者、地域住民の代表として首長の署名を受けた。 (世界遺産にする会会長、宮津市長、伊根町長、与謝野町長)</li><li>・ <b>京都府知事の応援メッセージ</b> 来賓の京都府知事より、地域への応援メッセージをいただいた。 (京都府知事)</li><li>・ <b>HAND in HAND 天橋立</b> 参加者全員により、天橋立を皆の手でつなぎ、地域の思いを全国、世界に発信した。</li><li>・ <b>天橋立の写真募集、チラシ作成</b> 参加者から天橋立の写真を募集し、天橋立の世界遺産登録を P R していくチラシを作成した。</li></ul>
概要	<p>事業は、宮津青年会議所が中心となり、企画立案、実行した。</p> <p>当日は、子どもから高齢者まで幅広い層の参加、また家族ぐるみの参加も多く見受けられ、価値観の広がりを感じさせるものであった。地域住民にとっても、天橋立に足を運び、天橋立を身体で感じる機会を得たことは、人々に改めて天橋立の素晴らしさを認識することができる絶好の機会となった。</p> <p>なお、当日のスタッフとして、一般会員にも参加の呼び掛けを行い、ボランティアとして協力を願った。</p>

## ◆第2部 天橋立車座シンポジウム（第6回天橋立まなび舎塾）

- ・日時：平成20年6月21日（土） 14時～16時
- ・場所：与謝野町生涯学習センター知遊館あじさいホール
- ・共催：社団法人宮津青年会議所 天橋立公園継承準備委員会
- ・参加者数：約80人
- ・内容：

テーマ	天橋立車座シンポジウム 世界の遺産を楽しむ 育てる そして学ぶ ～人の手がつなぐ天橋立という宝物～
プログラム	座談会形式でのシンポジウム コーディネーター 白幡洋三郎氏（国際日本文化研究センター教授） パネリスト 池谷宏氏（財団法人砂防・地すべり技術センター理事長） 伊藤太氏（京都府立山城郷土資料館主任） 真板昭夫氏（京都嵯峨芸術大学観光デザイン学科教授） 今井一雄氏（天橋立を世界遺産にする会会長）
概要	天橋立の白砂青松の景観は、人の手によって守られ、人々の暮らしの中で受け継がれてきたという観点から、天橋立のこれからについて論じた。 人との関わりの中で守られてきた天橋立の松や砂洲、丹後物狂などの文化芸術の題材となることで価値を形成し人々に伝え残されてきた天橋立など、過去から現在まで継承されてきた天橋立を学ぶことの大切さや子ども達に伝えることの大切さを認識するものとなった。

## ◎天橋立まなび舎塾

### ◆第6回「天橋立車座シンポジウム」

\*世界遺産登録推進運動の第2部として開催

### ◆第7回「文化芸術の源泉としての天橋立」

- ・日時：平成20年9月13日（土） 18時30分～21時30分
- ・場所：宮津歴史の館文化ホール
- ・共催：天橋立公園継承準備委員会
- ・参加者数：約120人
- ・内容：

テーマ	文化芸術の源泉としての天橋立 能「丹後物狂」・雪舟「天橋立図」—天橋立から世界へ—
-----	--

プログラム	<p>オープニング：「読み聞かせ「丹後物狂」 読み聞かせボランティア「あいうえお」</p> <p>講演：「能「丹後物狂」と世阿弥・井阿弥・義満」 天野文雄氏（大阪大学文学部教授）</p> <p>講演：「世界のなかの雪舟と天橋立図」 島尾新氏（多摩美術大学美術学部教授）</p> <p>パネルディスカッション：「情報発信の場としての天橋立」 コーディネーター 伊藤太氏（京都府立山城郷土資料館） パネリスト 天野文雄氏（大阪大学文学部教授） 島尾新氏（多摩美術大学美術学部教授） 辰巳幸司氏（宮津市教育委員会事務局総括室主任）</p>
概要	<p>学術的な視点から天橋立の世界文化遺産たる「文化芸術の源泉」としての価値を掘り下げるシンポジウムを開催した。</p> <p>今回のシンポジウムでは、平成 21 年度に開催予定として盛り上がりつつある能「丹後物狂（天橋立が舞台となる）」の背景の解説や読み聞かせ等を行い、さらに、雪舟筆「天橋立図」の解説の中で天橋立の神聖性を伝えるなど、地域住民に天橋立の新たな魅力を伝えた。</p> <p>また、過去の文化芸術の価値のみではなく、そうした天橋立の価値を現在でも活用するという提案を受けるといった充実したシンポジウムとなった。</p>

### ◎住民説明会・出張説明会等

- ・宮津市自治連合協議会総会（H20. 5. 9）において、会の活動を紹介し、DVD を上映。
- ・ハートフルフェスタ 2008 in SUMMER(H20. 8. 10)において、地域活動の紹介として会の活動を紹介し、DVD を上映。
- ・京都ヒューマンフェスタ 2008(H20. 11. 8～9)において、展示ブースで DVD を上映。
- ・宮津青年会議所を中心とした各地域への HANDinHAND 参加呼び掛けに併せての PR

## **(2) 世界遺産登録推進DVD製作事業**

天橋立世界遺産登録を地域住民の力により推進するため、天橋立の魅力を掘り下げ、未来へ継承していこうとする意識の高揚を目的として映像記録（DVD）を製作した。

このDVDは、天橋立の四季や祭等の風俗に焦点を当てた内容で、地元住民にとっては、改めて映像化したものを見ることにより客観的な視点で天橋立を見詰め直すきっかけとなり、その価値の認識を深めるものとなった。また、観光客等外部の者にとっては、天橋立と、そこに暮らす人々の生活に対する理解を深めるものとなった。

なお、DVDの製作にあたっては、NPO法人 京都の文化を映像で記録する会に委託したが、祭等の風俗に関する映像の撮影に関しては、地元の有力者等から直接話を聞いて行った。また、冠島への立ち入りについて地元漁業者の船に同行させていただく等、撮影場所の確保についても関係住民、団体の協力を得て実施した。

- ・ 内容…天橋立の四季の彩り、人々の生活の中での天橋立の姿など
- ・ 主な取材先（行事等）…籠神社葵祭、養老雄島参り、文珠智恩寺出船祭、  
炎の架け橋、HANDinHAND 天橋立、宮津燈籠流し、地藏盆
- ・ 製作枚数…100枚

### (3) その他情報発信・啓発等事業

#### ◎ロゴマークの作成・活用

会の活動のシンボルとして、会の認知度向上を図るため、ロゴマークを作成し、車用シール及び名刺シールとして配布した。また、ロゴマークは宮津燈籠流し花火大会のポスター等観光ポスターやパンフレットにも掲載するなど、啓発に努めた。

なお、ロゴマークは、天橋立の『天』の字をデザイン化したものを背景に配置し、サイズ・カラーに応じた複数のバージョンを用意している。

- ・作成数：車用シール・名刺シール 各 10,000 枚
- ・配布先：会員、企業・団体、イベント参加者(HAND in HAND 天橋立、橋立清掃等)ほか

#### ◎会報の発行

天橋立を世界遺産にする会の活動を会員や地域に情報発信するため、会報を発行した。また、会報はホームページにも掲載し広く外部への情報発信にも資している。

- ・会報第 2 号：H20.6 発行、500 部、平成 20 年度の活動について他
- ・会報第 3 号：H20.11 発行、1,000 部、世界遺産暫定リスト申請の審査結果について他  
(会報第 1 号は平成 19 年度事業で発行済 (H20.3))

#### ◎他団体との連携

##### ◆世界遺産講演会（丹後地区広域市町村圏事務組合との共催事業）

- ・日 時：平成 20 年 7 月 11 日（金） 18 時 30 分～21 時
- ・場 所：与謝野町生涯学習センター知遊館あじさいホール
- ・共 催：丹後地区広域市町村圏事務組合
- ・参加者数：約 120 人
- ・内 容：

テーマ	世界遺産講演会 —天橋立の世界遺産登録を応援し、元気の出るまちづくりをめざします—
プログラム	世界遺産事例発表： 「世界遺産石見銀山登録までの経過と協働によるまちづくり」 田中純一氏（島根県大田市生涯学習課長 前石見銀山課長） 世界遺産応援講演： 「走れ！ガリバーくん～～世界遺産への旅」 梅田淳氏（フリーアナウンサー 元関西テレビアナウンサー）
概要	丹後 2 市 2 町で構成する丹後地区広域市町村圏事務組合が、地域のまちづくりを進めるために開催する講演会を、世界遺産をテーマに開催するにあたり、本会との共催事業として実施した。 石見銀山の世界遺産登録に関わった田中氏による経験談や、フリーアナウンサー梅田淳氏による天橋立世界遺産登録へのエールなど、本会が行うシンポジウム等とはまた異なった内容の講演会となった。

## ◆クリーンはしだて1人1坪大作戦等への参画

クリーンはしだて1人1坪大作戦実行委員会（事務局：天橋立を守る会）が開催する天橋立の松並木の清掃活動や、天橋立公園継承準備委員会が開催した大垣海岸の清掃作業に参加し、地元住民、団体、行政などが協働して天橋立の環境美化に努めた。

\*当日は、天橋立世界遺産登録をPRする横断幕を掲出

<p>・第33回 クリーンはしだて1人1坪大作戦</p> <p>*平成20年4月13日（日）</p> <p>*約1,600名の参加（約3トンのごみを回収）</p>
<p>・クリーンはしだて1人1坪大作戦 第2回迎春天橋立一斉清掃</p> <p>*平成20年12月14日（日）</p> <p>*約400名の参加（約10トンのごみを回収）</p>
<p>・宮津市大垣海岸の清掃作業</p> <p>*平成20年10月22日（水）</p> <p>*約90人参加（約5.67トンのごみを回収）</p>

## ◆天橋立公園継承準備委員会（事務局：京都府丹後土木事務所）との連携

松並木の保全作業や天橋立に関わる情報を発信し、未来に継承していくための仕組み作りを検討する「天橋立公園継承準備委員会」に参画し、お互いの情報共有を図る等、連携を図った。

## ◎要望活動

世界遺産暫定リスト登録に向け、文化庁に対して天橋立のアピール等を行った。

- ・第1回 平成20年8月8日（金）
- ・第2回 平成20年8月20日（水）～21日（木）

## ◎その他広報

- ・懸垂幕・横断幕について、既存の横断幕を活用し宮津市消防団が出場する「第21回全国消防操法大会（10月12日）」の会場となった東京ビックサイトで掲げ、アピールを行った。
- ・世界遺産暫定リスト提案書において、天橋立の主要資産と位置付けている籠神社で平成21年度に開催される「籠神社神幸2500年紀」（籠神社、観光協会、地元実行委員会主催）を外部に向けてPRすることにより、天橋立の情報発信を行った。
- ・丹後を舞台とする地域映画「天国はまだ遠く」の主演女優加藤ローサがフジテレビ「笑っていいとも」に出演した際にスタンド花を送り、また、日経新聞、福井放送等の取材に応じるなど、メディアへの露出に努めた。



#### (4) 会議等の開催

平成 20 年度総会	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 20 年 4 月 8 日（火）</li><li>・与謝野町生涯学習センター知遊館 研修室</li><li>・内容：平成 19 年度事業報告、平成 19 年度決算 平成 20 年度事業計画案、平成 20 年度予算案 勉強会「天橋立を世界遺産に！」</li></ul>
平成 20 年度 理事会（第 1 回）	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 20 年 5 月 16 日（金）</li><li>・宮津市福祉センター大会議室</li><li>・内容：世界文化遺産登録市民シンポジウムの結果、 ロゴマークの完成、世界遺産登録推進運動</li></ul>
平成 20 年度 理事会（第 2 回）	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 20 年 6 月 5 日（木）</li><li>・宮津商工会議所 大会議室</li><li>・内容：マスコミでの露出, 取材状況、HAND in HAND 天橋立 車座シンポジウム、世界遺産講演会について</li></ul>
平成 20 年度 理事会（第 3 回）	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 20 年 10 月 1 日（水）</li><li>・宮津商工会議所 大会議室</li><li>・内容：天橋立の世界遺産暫定一覧表記載に係る審議結果 天橋立を世界遺産にする会の取組</li></ul>
戦略検討チーム 会議	<ul style="list-style-type: none"><li>・開催：4/16(水)、5/2(金)、6/17(火)、1/30(金)の計 4 回</li><li>・内容：各事業の実施にあたっての計画の立案等</li></ul>

## (5) その他関連事業

- ・(財) 京都府国際センターと宮津市が、外務省の協力を得て行う「きょうと北部 21 世紀セミナー」を「世界遺産と文化交流」をテーマとして行い、「国際的な評価を得る必要がある」等とされた天橋立の価値を世界に伝えるための糸口を探った。

(天橋立を世界遺産にする会は後援)

\*開催日：平成 21 年 3 月 8 日

\*開催場所：みやづ歴史の館文化ホール

\*主催：(財) 京都府国際センター 宮津市

\*共催：外務省 京都府

\*内容：講演 講師：門司 健次郎 氏 (外務省広報文化交流部長)

対談 門司 健次郎 氏 (外務省広報文化交流部長)

宗田 好史 氏 (京都府立大学准教授)

テモテ カーン氏 (国際日本文化研究センター助教)

コーディネーター：須藤 眞志 氏 (京都産業大学教授)

\*参加者数：約 100 人

- ・北近畿タンゴ鉄道車両に世界遺産登録推進運動を PR するラッピングを行った。

\*タンゴディスカバリー4 両の両面、計 8 面をラッピング。

\*期間：平成 20 年 6 月 26 日～平成 21 年 3 月 31 日

\*実施主体：宮津市

- ・港ユネスコ協会主催の国際シンポジウム「世界遺産の環境と観光 日本文化からの発信」において、宮津市長が出演し、天橋立の世界遺産登録活動について説明を行った。

\*開催日：平成 21 年 1 月 20 日

\*開催場所：港区 男女平等参画センター5 階ホール

\*実施主体：港ユネスコ協会

\*内容：日本における世界遺産

前野 まさる氏 (日本イコモス国内委員会委員長)

日本文化の発信

中見 真理氏 (清泉女子大学教授)

港区の観光立国への対応

樋渡 紀和子氏 (オンブズマンみなと代表)

天橋立を世界遺産に一松を環境汚染から護りつつ

井上 正嗣氏 (宮津市長)